

令和 7 年度(第39期)

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月31日)

事業報告書

一般財団法人 黒部市施設管理公社

I 公社全般

1. 総 括

当公社の令和7年度事業運営につきましては、東部児童センターをはじめとする5施設の指定管理業務と、宇奈月温泉スキー場の管理運営及びくろべ市民交流センターの受付業務の受託事業業務を担いました。

そのような中、まず、公社全体の事業収支決算では、市からの指定管理料の返還額は発生せず、256,524円の赤字決算となりました。施設別に見てみますと、別紙資料1に記載のとおり、公益目的実施対象施設である「児童センター（2館分）」では、「子ども育成事業」の経費計上により221,335円の赤字決算となり、同じく「宮野運動公園」においても「文化振興事業」の経費計上により1,241,526円の赤字決算となりましたが、その他の施設においては黒字決算となっています。

次に、事業運営の柱と言える施設利用面ですが、令和7年度総利用者数は115,335人で対前年度比3,709人増加しました。これまで改修のために利用不能であった野球場の改修が完了し、年度当初からの供用開始できたことにより、宮野運動公園の利用者が5,369人増加したことによるものであります。

一方、施設の利用料収入については、令和7年度総額が4,183,893円で、対予算比では額で713,893円、率にして20.5%の増となりました。特に、宿泊を伴う「ふれあいハウス宮野」においては、令和6年度に続き予算を大幅に上回る施設利用料収入となるなど、コロナ感染症の影響による低迷期からの回復傾向を示しております。

当公社における現状の課題を少し整理しますと、まずは、各指定管理施設の経年劣化が挙げられます。利用者の一番多い宮野運動公園各施設をはじめ、それらのほとんどが昭和50～60年代に整備され、築後30～40年以上経過しています。自然災害時の指定避難所として重要な役割を担う観点からも、抜本的な改修が求められる施設においては早期あるいは年次的にその改修が実行されるよう、市に対する要望を継続しつつ、安全・安心の確保と利便性の向上を図っていく必要があります。

また、当公社が平成25年に一般財団法人へ移行した際、その条件として作成した『公益目的支出計画』については、対象施設であった「市民会館」が閉館したため、「スポーツ・文化振興事業」及び「子ども育成事業」を対象とした計画に変更したところであり、今後、その主旨に沿った事業展開を着実に実践していく必要があります。

次に、市からの受託事業について、まず、「宇奈月温泉スキー場」ですが、リフトやトイレなど、運営に必要不可欠な施設改修とともに、営業必須条件である索道技術管理者の配置のあり方など、具体策を市に求めつつ、協議を重ねていく必要があります。

また、「くろべ市民交流センター」の受付等受託業務については、これまでの経験等を活かし、的確かつ丁寧な業務遂行に努めていますが、引き続き、当公社に求められる役割をしっかりと果たしていく必要があります。

結びに、今後も感染症等への必要な対策を継続しつつ、指定管理者としての自覚のもと安全・安心かつ利用者に親しまれる施設として、また、委託者からも信頼される受託者として、適切な施設管理と経費の徹底した縮減等に努めるべきものと認識しております。

2. 利用状況

令和7年度の総利用者数は115,335人で、対象5施設のうち3施設で増加、2施設で減少となり、5施設合計の対前年度比は3,709人の増加となりました。それぞれの増減理由については、各施設事業報告の項目で記載しています。

(単位:人)

施設名	利用者数		増減
	令和7年度	令和6年度	
東部児童センター	16,553	16,070	483
三日市体育センター	27,360	26,947	413
中央児童センター	13,533	15,834	△2,301
宮野運動公園	56,188	50,819	5,369
ふれあいハウス宮野	1,701	1,956	△255
計	115,335	111,626	3,709

※合計欄の数値は（ ）内の数値を除く

3. 収支状況

効果的な予算執行と経費節減に努めつつ、児童センター、宮野運動公園を対象とする『公益目的実施事業』の実行に留意した結果、全体で680,976円の赤字決算となりました。

(単位:円)

施設名	事業収支差額		増減
	令和7年度	令和6年度	
公社本部(一般管理費)	302,608	268,589	34,019
東部児童センター	△461,724	△488,505	26,781
中央児童センター	240,389	11,557	228,832
宮野運動公園	△1,241,526	△1,766,456	524,930
ふれあいハウス宮野	479,277	323,385	155,892
事業収支差額計	△680,976	△1,651,430	970,454
返還金	0	0	0
合計	△680,976	△1,651,430	970,454

※1. 事業収支差額＝事業活動収入(補助金＋指定管理料＋施設利用料等)－事業活動支出額

4. 施設利用料の収入状況

令和7年度の施設利用料は、対象3施設合計の対前年度比で374,650円の増となり、予算額に対する達成率は120.5%、額で713,893円の増収となりました。

(単位:円,%)

施設名	令和7年度施設利用料			令和6年度施設利用料		
	予算	実績	達成率	予算	実績	達成率
三日市体育センター	10,000	1,220	12.2	10,000	2,440	24.4
宮野運動公園	2,300,000	2,560,973	111.3	2,020,000	1,924,163	95.3
ふれあいハウス宮野	1,160,000	1,621,700	139.8	1,610,000	1,882,640	116.9
計	3,470,000	4,183,893	120.5	3,640,000	3,809,243	104.6

II 各施設事業報告

1. 公社本部

〈主な取組実績〉

- ・毎月定例的(基本:第3火曜日)に「施設長会議」を開催し、情報の共有と確認に努めつつ、必要に応じて本部からの指示・伝達を行いました。
- ・公社全般の会計事務及び財務諸表の作成等を行い、健全な事業運営の厳格化に努めました。
- ・必要な時期に、理事会及び評議員会を開催し、事業計画・予算や事業報告・決算をはじめ、運営上の諸問題や予算執行状況等の協議を行い、様々な意見聴取とその反映に努めました。(具体的な開催状況はP15に記載)
- ・5月16日には、公社監事による定期監査、1月27日には、黒部市監査委員会事務局による令和7年度上期予算執行状況等の監査を受け、いずれも適正処理の総評を受けました。
- ・10月2日には、「令和8年度黒部市予算に対する要望書」を市に提出のうえ、15件にわたる要望事項の実現化に向け、市所管課等と直接折衝を行いました。

2-1. 黒部市立東部児童センター

(1)利用状況

	令和7年度	令和6年度	増減
開館日数	288日	290日	△2日
利用者数	16,553人	16,070人	483人
児童	9,901人	8,686人	1,215人
幼児	2,284人	2,253人	31人
保護者	4,368人	5,131人	△763人

前年度と比較し、利用者数では、483人(3.0%)の増加となりました。児童は1,215人、幼児は31人増加しました。保護者が763人減少した要因として、児童の送迎のみで平日親子で一緒に遊ぶ保護者が少なくなったことや、年間を通して1番大きなイベントである「公益目的こども育成事業」が令和6年度は2日間実施したことに対し、令和7年度は1日のみの実施となったことによるものです。

(2) 管理状況

① 改修・修繕等経費

市直営により、屋上防水改修工事、火災報知器の更新工事が行われました。

指定管理修繕費で、事務所スチールドア修繕、遊具ゆらゆら橋ロープ乗木・紐取替、一輪車6台パンク修繕・メンテナンス、水回り修繕(1・2階トイレと湯沸室)、ロールスクリーン取付工事(1階ロビー)などを行いました。

② その他

- ・施設設備や遊具等の点検を徹底し、破損や劣化箇所の補修を行いました。
- ・こども対象避難訓練(毎月実施)や消防署指導による通報、避難訓練を行いました。
- ・職員を対象とした中央児童センターとの合同訓練として、警察署指導による防犯講習(不審者対策)や消防署指導による救命講習(心肺蘇生・AED)を行いました。

(3) 運営状況

① 自主事業等

ア. 「あそぼ・う・さ・い！」

記憶に新しい能登半島地震を契機として、こども達が防災や災害について楽しく学べるように年間3回企画しました。クイズは絵カードを作って三者択一式で正しいものや間違っているものを選択。大体の子は学校で教わっていることもあり、正しく解答していました。便利工作では、半透明のビニール袋を数ヶ所カットして絵を描いてカップ作り、新聞を折って作った新聞スリッパは「もう1足作る！」と言って復習するかのように作っている姿も見られました。また、災害時に電子レンジや冷蔵庫がなくても手軽に作れて調味料なしの蒸しパンを試食。「あまり味がしない。」とする一方、「おいしい。」「砂糖も塩も入ってなくてヘルシー。」との声もありました。

イ. 【中央児童センターとの合同行事】

令和7年度公益目的「こども育成事業」

「中央・東部児童センター合同 こどもまつり2025」

日時：令和7年10月18日(土) 午前9時30分～午後4時

会場：東部児童センター

地域のこども達に多種多様な“遊び”体験の機会を提供し、児童センターを利用したことがないこども達にも児童センターの楽しさを知ってもらうことを目的として令和6年度から「こども育成事業」を実施しております。令和7年度についてはメインとして幼児から大人まで一緒に楽しめるパフォーマンスショー&体験コーナー、あそびのコーナー、こども商店街、ぬりえコーナー、ボードゲームコーナー、抽選会などのブースを設け、来場者も多数見受けられ、大盛況となりました。また、公社全体で力をあわせて取り組み、小学生の実行委員やボランティア(高校生・社会人)もしっかりと役割を果たし、イベントを盛り上げてくれました。

・来場者数／528 人、ボランティア数／30 人（小学生 28 人・高校生 1 人・社会人 1 人）、スタッフ、関係者数／31 人 } 計589人

②広報活動

「まいぷれ黒部」で毎月のイベント情報の更新や報告などを掲載し、魅力あるホームページにするよう努めるとともに、「ラジオミュー」や「みらーれTV」などのメディアを活用してPRに努めました。また、「広報くろべ」の“子育て支援”のページに毎月の行事を掲載するなど、広く市民に周知しました。

(4)課題

- ①地域の方との交流
- ②老朽化に伴う施設の維持・管理
- ③子ども達の安心・安全対策

2－2．黒部市三日市体育センター

(1)利用状況

	令和7年度	令和6年度	増 減
開 館 日 数	287日	288日	△1日
利用料収入	1,220円	2,440円	△1,220円
利 用 者 数	27,360人	26,947人	413人
利 用 回 数	931回	1,037回	△106回

前年度と比較し、利用者数では413人（1.5％）の増加、団体利用件数では106回（△10.2％）の減少となりました。

利用者数増加の要因は、東部児童センターの利用者数が483人増加したことによります。三日市体育センターのみの利用（児童センターの利用者以外）に関しては、利用者数が減少した種目もあるものの、バドミントンや午後5時30分以降の親子でのバスケットボール練習の利用が増え、1,130人の増加となった一方、申し込み後のキャンセル増や個人利用への形態変化により、団体申込みは減少しました。

(2)管理状況

①改修・修繕等

指定管理修繕費で、多目的球技場照明器具点検・修繕、体育室出入口手前非常口電球取替（1ヶ所）、体育室水銀灯取替（2ヶ所）、多目的球技場窓ガラス修繕（1枚）などを行いました。

②その他

- ・施設設備や道具の点検を徹底し、破損や劣化箇所の補修を行いました。

(3)運営状況

①自主事業等

利用者の要望に応じて「＝健康維持＝ストレッチ教室」を、2回コース（10月・11

月に各1回)で行いました。年間を通して実施しているパワーヨガ教室のPRや市民の健康維持にもつながりました。

②広報活動

「まいぷれ黒部」での自主事業の情報更新やポスター掲示など、PRに努めました。

(4)課題

①夏季の熱中症予防対策

②施設の老朽化に対する適切な維持管理

③駐車場の確保

3. 黒部市立中央児童センター

(1)利用状況

	令和7年度	令和6年度	増 減
開館日数	288日	290日	△2日
利用者数	13,533人	15,834人	△2,301人
児 童	7,292人	8,693人	△1,401人
幼 児	1,094人	1,264人	△170人
保護者	5,147人	5,877人	△730人

前年度と比較し、利用者数は2,301人(△14.5%)の減少となりました。

本年度は7月から9月にかけて熱中症警戒アラート発表が過去最多を記録し、異常な暑さとなったことや、11月から3月にかけてインフルエンザの異例な大流行で学年閉鎖・学級閉鎖が相次いだことによるものです。また、ここ数年、学童クラブ(中央チークーズ)利用が増加傾向にあることから、ランドセル児童も減少するなど、全体的に減少する傾向にあります。

(2)管理状況

①改修・修繕等

市直営により、3月に倒木の心配がある建物裏道路沿いの桜の木の伐採の他、道路にはみ出している樹木の剪定が行われました。

指定管理修繕費で、遊戯室(6ヶ所)の照明設備修繕(LED化)、図書室のロールカーテン取替工事等を行いました。

②その他

- ・日頃より施設・設備や遊具の点検を徹底し、草刈り、落葉及び老木化による枝折れの処理、屋外清掃等を行い安全対策や環境整備に努めました。
- ・こども対象避難訓練(毎月実施)や市職員による防災出前教室を行いました。

- ・児童センター合同訓練（P 5「東部児童センター」での記載と同様）

(3) 運営状況

① 自主事業等

ア. 専門講師による各種教室【新規3教室】

- ・＜リズムダンス教室「ヒップホップを楽しもう！」＞

3回コース(10月～12月)として、幼児から高学年までの女子の参加により実施しました。音楽に合わせて全身を動かすため相当の運動量であったものの、元気なこども達はリズム感がよく、みんなで揃って踊る楽しさを味わいながら、音に乗って生き生きとして踊るなど、ダンスの楽しさを存分に味わっていました。

- ・＜親子バルーン教室＞

昨年度の公益目的支出計画実施事業「こども文化祭」出演者であるバルーンアーティスト Nana さんを招き、定員を決め事前申し込み制としたところ、たいへん人気があり、あっという間に定員締切となる状況で実施しました。実際にバルーンアートを体験した後、バルーンアートショーを見せていただき、参加したこどもから大人まで、拍手喝采で大変盛り上がり好評でした。

- ・＜親子アイシングクッキー教室＞

アイシングクッキー認定講師の吉江都さん指導で12月に実施し、クリスマスシーズンに合わせ、クリスマスデザインのクッキーを作りました。こども達は、アイシング（天然色素で色付けされた砂糖クリームペン）で、時間も忘れるくらい夢中になって取り組み、見た目も可愛らしく味も美味しい仕上がり、どの子も満足感あふれる笑顔を見せていました。

イ. 【中央児童センターとの合同行事】

「中央・東部児童センター合同 こどもまつり2025」

（P 4「東部児童センター」での記載と同様）

② 広報活動

（P 4「東部児童センター」での記載と同様）

(4) 課題

- ① 行事や遊びの内容を見直し、魅力あるプログラムづくり
- ② 施設・設備（遊具含む）の老朽化対応
- ③ 配慮を必要とする子どもへの対応。家庭や学校等との連携

4. 宮野運動公園

(1) 利用状況

	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
開 館 日 数	359 日	359 日	0 日
利用料・使用料	2, 560, 973 円	1, 924, 163 円	636, 810 円
利 用 者 数	56, 188 人	50, 819 人	5, 369 人

前年度と比較し、利用者数では 5,369 人の増、利用料・使用料収入では 636,810 円の増額となりました。利用者増の要因として、野球場の改修工事が 6 年 7 月に終了し、今年度はシーズン通して利用できたので利用人数は 8,180 人増加、利用回数は 52 回の増加となりました。一方、体育館は、前年度に黒部市総合体育館が照明工事の為利用できない期間があり、その間、宮野体育館を代替えで利用されたことにより利用者増となっていました。7 年度はこのような状況がなくなったことにより従前の利用者数に戻っています。

テニスコートは、日中も夜間とも利用が増え、利用者数、回数共に増加したほか、運動芝生広場につきましては、花見時期の悪天候等の影響により人数が減少しました。

施設別利用回数(上段)・人数(下段)			
施 設	令和 7 年度	令和 6 年度	増減
体 育 館	874	944	△70
	10, 836	12, 349	△1, 513
野 球 場	95	43	52
	12, 831	4, 651	8, 180
テニスコート	1, 495	1, 344	151
	9, 661	7, 562	2, 099
多目的グラウンド	107	128	△21
	4, 987	4, 548	439
陸上競技場	194	242	△48
	4, 503	3, 566	937
運動芝生広場	0	0	0
	13, 370	18, 143	△4, 773
計	2, 765	2, 701	64
	56, 188	50, 819	5, 369

(2) 管理状況

①改修・修繕等

市の直営により、多目的グラウンド照明 LED 化工事、事務所前モニュメント改修工

事、多目的グラウンド改修工事等が行われました。

指定管理修繕費で、野球場ラック修繕、テニスコート照明ランプ交換、パッカー車車検整備、乗用芝刈り機・草刈り機等の作業機械修繕、事務所入り口ドアガラス修繕、体育館誘導灯修繕等を行いました。

②その他

- ・猿や猪等の野生動物が多くなり、特に猪の被害が多く被害範囲が拡大していることから、市において罠を設置しています。

(3) 運営状況

① 自主事業等

ア. 令和7年度公益目的「文化振興事業」

「夏井いつき 句会ライブ in 黒部」

日時：令和8年3月28日(土)

会場：黒部市国際文化センター

古くから幅広い年代層に親しまれ日本の伝統文化と称される俳句を通じて地域の文化振興に寄与することを目的に、『プレバト！』でお馴染みの夏井いつきさんを講師に迎えた句会を実施しました。当日は700人の観衆の前で、夏井さんが「俳句のタネ」となるモノや風景などの12音を探し、気分にあった5音の季語を組み合わせる「取り合わせ」という技法を紹介。後半は来場者が作った俳句から秀作を選定し、作者との掛け合いにより会場には笑いと感嘆の声があがっていました。

イ. その他

ふれあいハウス宮野と協力して野球場で県外強豪高校の試合を行いました。

② 広報活動

- ・公社ホームページを活用して施設のPRを行ったほか、「黒部カタログ」にも掲載いたしました。

(4) 課題

- ①施設や機械の老朽化と社会情勢に伴う経費の高騰
- ②野球場内側壁の塗装劣化
- ③ 猪による芝地の掘り起こし対策
- ④ 陸上競技場走路の劣化（土の入替）
- ⑤ 園内芝地の雑草対策
- ⑥ 草地斜面の湧水区域の拡大と状況悪化（陸上競技場横、駐車場横、壁打ち場横）

5. 黒部市ふれあいハウス宮野

(1) 利用状況

	令和7年度	令和6年度	増 減
開館日数	337日	337日	0日
利用料収入	1,621,700円	1,882,640円	△260,940円
利用者数	1,701人	1,956人	△255人

年間利用状況においては、利用者数、収入金額ともに過去最高実績を残した前年度との比較では、利用者数は255人（13.0％）の減、利用料収入でも260,940円（13.9％）の減となりましたが、宿泊者数は過去3番目に多い1,366人となり、年間利用料収入見込額（116万円）を大きく上回る実績となりました。

10月、12月、2月に月間の最多利用者数を更新していますが、特に10月はそれまでの月間最多宿泊者数の99人を大きく上回る135人が宿泊利用されました。また、年間宿泊者総数1,366人のうち約4割（39％）が当施設館長の誘致団体で占めるなど、営業活動の成果が顕著にあらわれております。

また、このような大人数利用時の最重要課題となる食事提供面においては、外部協力者の貢献により対応しております。

(2) 管理状況

① 施工修繕、更新、調査等

市直営により、浴槽水排水管根詰まり改修工事が行われました。

指定管理修繕費で、天井裏水槽ボールタップ取替工事、館内各換気扇の調整及び清掃、屋外男子トイレの手洗い蛇口交換、事務室エアコン更新、施設入口引戸鍵部・取手修理、浴室換気扇更新工事を行いました。

② その他

宮野運動公園管理事務所職員の協力を得て、施設周辺の草刈り及び除草剤散布を行いました。

(3) 運営状況

① 実施事業

『高校野球練習試合』

※県内外高校野球部を招き、宮野球場にて当施設合宿来所高校野球部との練習試合を2回にわたり実施しました。

1回目／4月1、2日

- ・合宿校 丹生(福井)
- ・来所校 長野日大、日本ウェルネス長野

2回目／8月13、14、15日

- ・合宿校 日本文理(新潟)
- ・来所校 不二越工、星稜(石川)、古川学園(宮城)

②広報活動

当公社ホームページを活用して施設のPRのほか、他県のスポーツ関連団体に出向いて宣伝活動。また管理人個人の人脈を活かし団体利用を誘致しました。

(4) 課題

- ①施設の老朽化に対する適正な維持管理。
- ②団体利用誘致にあたっての重要事項である食事提供の対応。

6. 黒部市宇奈月温泉スキー場

(1)利用状況

	令和7年度	令和6年度	平成5年度
営業日数	39日	46日	28日
利用者数	6,629人	9,114人	3,559人

(2)管理運営状況

営業開始にあたり、シーズンを通して安全に利用いただけるよう施設の保守点検を実施するとともに、万一に備え救助訓練を行いました。今シーズンは、令和7年12月20日にスキー場開き式・安全祈願祭を執り行い、12月25日から3月1日までの営業となりました。営業予定日数52日間に対し営業実績は39日間に留まり、令和6年度と比すると営業日数が減ったことから、市において年間目標利用者とする7,500人にはとどかず6,629人の利用者数となりました。

(3)利用実績

- ・営業期間：令和8年1月5日～令和8年3月1日（この間2日間は営業休止）
- ・営業日数：39日間
- ・利用人員：6,629人
- ・平均利用者数：169人／日
- ・受託費：21,257,534円

7. くろべ市民交流センター

(1) 利用状況

	令和7年度	令和6年度
営業日数	359日	359日
利用者数	258,273人	259,277人

(2) 受託業務状況

当公社が市から受託する貸室の受付及び案内業務等においては、必要人員を確保の上これまでの貸館事業の経験と実績を活かし、貸室の円滑な予約申請受付やセンターを訪れる皆様への丁寧な案内業務等に努め、開館以降、大きな混乱やトラブルなく概ね順調に推移してまいりました。令和7年度のセンター全体利用者実績は、258,273人（719人/日）で、市が年間目標利用者数とする25万人（696人/日）を上回るペースでの利用実績となりました。

(3) 利用実績（センター全体）

- ・ 営業期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ・ 営業日数：359日間
- ・ 利用人員：258,273人
- ・ 平均利用者数：719人／日
- ・ 受託費：14,450,000円